経済学研究科　修了者のキャリアパスの事例

修士課程においては、経済の政策・理論・思想・歴史および地域･国際問題に関する講義と演習を通じて、経済に関する専門的知識のみならず、人間と社会に関する幅広い見識を養う。本研究科は、開設以来約半世紀にわたり、教育・行政・産業などの各界に有為な人材を輩出しており、企業等に就職を希望する場合は、キャリア支援センターと連携をとって、適切な指導・助言を行っている。修士課程修了後の進路としては、民間企業や各種団体、高等学校教員や公務員、さらには税理士などとしても活躍している。 さらに、修士（経済学）の学位を取得することにより、博士（後期）課程への進学や、中学校・高等学校教諭専修免許状取得、資格試験のうち一部科目の免除が可能となる。

近年では、昼夜間開講の時間割や長期履修制度を設けたことにより、地下鉄交通の利便性ともあいまって、社会人の方々の入学が増加している。社会人学生の場合には、上のような能力を養うことで、従来の職場でのさらなる活躍が見込まれる。

博士（後期）課程修了者については、経済に関する高度な専門的知識と人間・社会に関するする幅広い見識を有する自立した研究者あるいは高度専門職業人として、学術研究の発展と社会の各分野における問題解決に貢献する人材の育成を目指している。